

令和3(2021)年度

事業計画書

公益財団法人 群馬県長寿社会づくり財団

令和3年度 事業計画

〈事業展開の基本方針〉

令和2年10月1日現在の群馬県の総人口は、192万6千人で前年よりも1万2千人ほど減少し、今後も少子高齢化による人口減少傾向が続くと考えられています。

また、群馬県の将来推計人口(令和2年1月推計)では、総人口が減少する中、令和2年の65歳以上の人口は58万5千人、人口割合は30.4%で、そのうち65～74歳が15.0%、75歳以上が15.4%です。団塊世代が75歳以上となる令和7年には65歳以上の人口は59万2千人、人口割合は31.8%、そのうち65～74歳が13.1%、75歳以上が18.7%で、より高齢層の増加が見込まれています。医療や介護の需要の高まりが懸念されますが、一方で8割以上の高齢者は介護などの支援を必要としない元気な方々です。

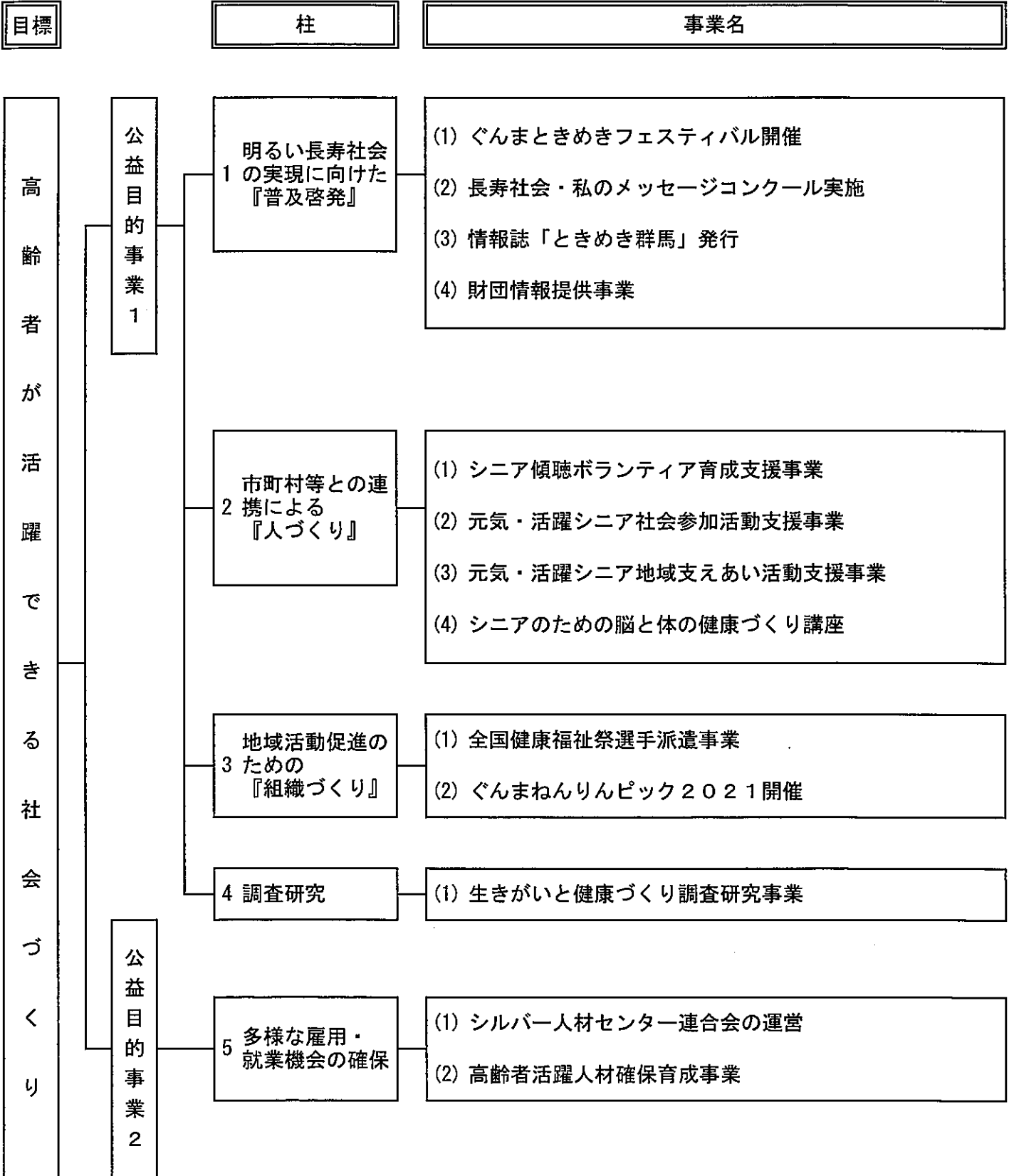
人生100年時代を迎えた現在、高齢者自身が地域社会の中で社会的役割を担う主体となり、自らの経験、知識、意欲を活かし、趣味や余暇活動、学習、ボランティア、就労など多様な「活躍の場」を通じて地域社会とかわりを持ち続けることで、健康寿命の延伸や地域の活性化が期待されています。

しかし、昨年からの新型コロナウイルスの影響で外出や交流を控える高齢者が増加し、心身機能の低下から健康と要介護の中間の虚弱状態であるフレイルを引き起こすリスクが高まっています。

新型コロナウイルス感染症の収束には、まだ時間を要するものと思われますので、正しく感染予防をしながら高齢者の心身の健康をどのように維持していくかが重要な課題です。

群馬県長寿社会づくり財団では、「高齢者が活躍できる社会づくり」を目標に掲げ、高齢者の自主的な社会参加、雇用・就業及び能力活用、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、「普及啓発」、「人づくり」、「組織づくり」、「調査研究」、「多様な雇用・就業機会の確保」の5つの柱に沿って、市町村や各種関係機関・関係団体との協働による事業実施を推進するとともに、群馬県と一体となって明るい長寿社会の実現に向けて引き続き取り組んでまいります。

令和3年度 事業体系



1 明るい長寿社会の実現に向けた『普及啓発』

(1) 第30回ぐんまときめきフェスティバル開催〔予算額 3,472千円〕

シニア世代の社会参加と生きがいづくりを推進するため美術展、俳句大会を開催し、日頃の創作活動の成果を発表する機会を設けるとともに、高齢社会を共に考える機会とするための講演会を実施します。

なお、美術展は全国健康福祉祭美術展の本県代表作品選考会を兼ねています。

ア 開催日 3/12(土)～15(火) 4日間

イ 場所 ベイシア文化ホール(前橋市日吉町)

ウ 内容

(ア) ときめき美術展(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)

(イ) ときめき俳句大会

(ウ) ときめき講演会

エ 参加者数 2,000人

(2) 長寿社会・私のメッセージコンクール実施〔予算額 693千円〕

明るく活力のある長寿社会に向けての気運を盛り上げるため、小学生からシニア世代までの方々に、長寿社会について感じたこと、地域活動、就業等を通じて感じたことや豊かで明るく生活することについて考えたことをメッセージとして募集し、優秀作品を選考のうえ公表します。

ア 募集期間 6月～9月上旬

イ 表彰式 3/12(土)

ウ 場所 ベイシア文化ホール(前橋市日吉町)

エ 参加者数 2,000人

(3) 情報誌「ときめき群馬」発行〔予算額 2,231千円〕

シニア世代の生きがいづくり、健康づくり及び社会参加に関する情報や、個人、団体及び財団の事業内容を紹介した情報誌を作成し、市町村等関係機関などに配布することにより、明るく活力のある長寿社会の実現に向けて意識啓発を図ります。

ア 規格 A4判 16ページ(夏、冬号)、24ページ(春号)、フルカラー

イ 配布部数 各号13,000部(年3回)

ウ 配布先 県、市町村、公民館等

(4) 財団情報提供事業 [予算額 346千円]

ホームページやSNSを多用しながら、従来のPR用パンフレットと併せて市町村や県民へ当財団の事業内容を適時提供します。

ア 内容

- (ア) PR用パンフレット「事業案内ときめき」作成 4,000部
- (イ) ホームページ更新 当財団の概要及び事業等の情報の更新
- (ウ) Twitterアカウントの運営 新着情報、募集情報、事業報告の配信
- (エ) 市町村等関係団体との事業連携についてアンケートの実施
 - ・内容 当財団事業の協働実施について
 - ・送付先 市町村、市町村社協、各地域包括支援センター
- (オ) バナー広告及びTwitter周知のちらし作成
- (カ) 財団YouTubeチャンネルによる情報発信

2 市町村等との連携による『人づくり』

(1) シニア傾聴ボランティア育成支援事業 [予算額 491千円]

悩みを持つ人の話し相手となり、自分自身で悩みを克服できるよう手助けを行う傾聴ボランティア活動を支援するため、養成講座及びスキルアップ講座、意見交換会を開催するとともに、情報提供を行います。

ア 養成講座 会場名(連携先)、開催日、場所、定員

- (ア) 渋川会場(渋川市社会福祉協議会)
7/15(木)、29(木)
渋川ほっとプラザ
- (イ) 高崎会場(高崎市社会福祉協議会)
10/7(木)、13(水)
高崎市社会福祉総合センター
- (ウ) 定員 各30名

イ スキルアップ講座 会場名(連携先)開催日、場所、定員

- (ア) 高崎会場(高崎市社会福祉協議会)
1/18(火)
高崎市社会福祉総合センター
- (イ) 定員 各30名

ウ 意見交換会 開催日: 5/26(水)、場所: 県社会福祉総合センター、定員: 30名

エ 情報提供

市町村及び社会福祉協議会と連携し、傾聴ボランティア活動の情報を収集し提供します。また、傾聴ボランティアグループ一覧を作成、講座修了者へ配布し、グループへの参加及びボランティア活動を促します。

(2) 元気・活躍シニア社会参加活動支援事業 [予算額 1,306千円]

退職後の元気なシニアに、社会とのつながりや健康等をテーマに学ぶ機会を提供し、地域デビューを支援、健康づくりの実技等も行い、参加型・体験型の講座として実施します。

また、シニアグループの情報提供やマッチングを行い社会参加活動を支援します。

ア セカンドライフ講座

(ア) チェアヨガ講座 会場名 (連携先)、開催日、場所

- a 桐生会場 (桐生市)、7/21 (水)・28 (水)、美喜仁桐生文化会館
- b 板倉会場 (板倉町)、2/8 (火)・15 (火)、板倉町B&G海洋センター
- c 定員 30名 (板倉会場)、40名 (桐生会場)

(イ) ウォーキング講座 (新規) 会場名 (連携先)、開催日、場所

a 講演会

(a) 前橋会場、6/3 (木)、群馬県社会福祉総合センター

(b) 定員 50名

b 実技 (正しい歩き方等)

(a) 前橋会場 (自主事業)、7/2 (金)・9 (金)、群馬県総合スポーツセンター

(b) 定員 30名

c 実技 (ノルディックウォーキング)

(a) 板倉会場 (板倉町)、10/6 (水)・13 (水)、板倉町B&G海洋センター

(b) 定員 30名

(ウ) 美味しいコーヒーの淹れ方講座 会場名 (連携先)、開催日、場所

a 伊勢崎会場 (伊勢崎市社会福祉協議会)、

6/15 (火)・22 (火)、伊勢崎市社会福祉会館

b 定員 20名

イ アクティブシニアのためのSNS活用講座

シニア世代が仲間づくりや地域とのつながりの新たな手法としてSNSを活用し、社会参加活動へと結びつくように、SNSの仕組み及び利用方法を習得します。

(ア) 基礎コース (SNSって何?) 会場名 (連携先)、開催日、場所

a 邑楽会場 (邑楽町)、7/14 (水)、邑楽町役場

b 定員 30名

(イ) 実践コース (LINE、Twitter、Zoomを始めよう!) 会場名 (連携先)、開催日、場所

a 邑楽会場 (邑楽町)

10/4 (月)・11 (月)・12 (火)・18 (月)、邑楽町役場

b 太田会場 (太田市シルバー人材センター)

9/6 (月)・7 (火)・9 (木)・13 (月)、宝泉行政センター

c 定員 20名

ウ シニアグループの登録

活動支援、情報提供 (ホームページに掲載)、関係団体との連絡調整

エ 貸出 軽スポーツ用具などを無料で貸出を行います。

(ア) 軽スポーツ用具 (スカイクロス、ペタンク)

(イ) 健康マージャン道具

(3) 元気・活躍シニア地域支えあい活動支援事業 [予算額 301千円]

元気な高齢者の社会参加及び地域の支えあい活動の担い手としての活躍を推進する一方で、要支援者の増加を抑制し、高齢者が元気でいつまでも社会との関わりを持つことができる、明るく活力のある長寿社会の実現を目指し、介護予防推進のボランティア活動等に役立つ実用的な講座を開催します。

ア 脳トレーニングリーダー養成講座

レクリエーションを活用し、高齢者が楽しみながら脳を鍛え、活性化につながる手法とその効果を習得します。

(ア) 会場名 (連携先)、開催日、場所

太田会場 (太田市シルバー人材センター) 9/16 (木)・21 (火)
宝泉行政センター

(イ) 定員 20名

イ 福祉レクリエーション講座 (新規)

ホスピタリティやアイスブレイキングの理念を取り入れ、手遊びや集団ゲームなどを用いて高齢者の方と良好なコミュニケーションづくりに役立てる方法について学びます。

(ア) 会場名 (連携先)、開催日、場所

伊勢崎会場 (伊勢崎市社会福祉協議会)、
8/31 (火)・9/7 (火)、緋の郷

(イ) 定員 30名

ウ 若返りリトミック講座

音楽を楽しみながら心身の若返りと認知症予防を目的にしたメソッドを使いながら、「あたま」「こころ」「からだ」の3つの若返りの手法とその効果を習得します。

(ア) 会場名 (連携先)、開催日、場所

太田会場 (太田市社会福祉協議会太田市ボランティアセンター)
6/17 (木)、太田市社会福祉協議会太田市ボランティアセンター

(イ) 定員 30名

エ タッピングタッチ講座

両手を使って肩や腰・頭などの部分を、左右交互のリズムでタッチしていくことで、不安、緊張などを和らげ、よりよいコミュニケーションが図れるようになる手法とその効果を習得します。

(ア) 会場名 (連携先)、開催日、場所

前橋会場 (自主事業)
11月予定、前橋市総合福祉会館

(イ) 定員 30名

(4) シニアのための脳と体の健康づくり講座 [予算額 133千円]

誰もが迎える高齢期を健やかに過ごすために必要な知識・技術を身につけ、健康づくりに役立てるとともに、講座で学んだ健康づくりのための運動を日常生活で継続して行うことで健康寿命の延伸を目指します。

ア 会場名(連携先)、開催日、場所

(ア) 川場会場(川場村)、9月～10月予定、川場村体育館

(イ) 前橋会場(自主事業)、10月～12月予定、前橋市内

イ 定員 各30名

3 地域活動促進のための『組織づくり』

(1) 全国健康福祉祭選手派遣事業 [予算額 4,508千円]

シニア世代を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与するために開催される「第33回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2021)」に群馬県選手団を派遣します。

ア 開催期間 10/30(土)～11/2(火) 4日間

イ 場 所 岐阜県内各地

ウ 選手団 120人

エ 参加種目 30種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道、水泳、グラウンド・ゴルフ、ラグビーフットボール、サッカー、ソフトバレーボール、ウォークラリー、太極拳、ダンススポーツ、ディスクゴルフ、マレットゴルフ、インディアカ、オリエンテーリング、ターゲット・バードゴルフ、バウンドテニス、スポーツウェルネス吹矢、パドルテニス、囲碁、将棋、健康マーじゃん、かるた

(2) ぐんまねんりんピック2021開催 [予算額 3,004千円]

スポーツや文化活動を通じて、シニア世代の健康の保持増進と交流、生きがいづくりを推進するため開催します。

ア 開催日 10/20(水)・10/21(木)

イ 場 所 ALSOKぐんま総合スポーツセンター他

ウ 参加者数 2,000人

エ 競技種目 17種目

ゲートボール、卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、剣道、弓道、グラウンド・ゴルフ、マラソン、水泳、ソフトバレーボール、ペタンク、なぎなた、太極拳、囲碁、将棋、健康マーじゃん

4 調査研究

(1) 生きがいと健康づくり調査研究事業〔予算額 451千円〕

当財団の事業参加者を対象に、シニア世代の社会参加の実態についてアンケートを行い、社会参加が健康長寿や生きがいにつながる実態についてまとめ、公表します。

- ア 調査時期 8月～9月
- イ 調査対象 当財団事業参加者
- ウ 調査方法 郵送による調査
- エ 調査事項 健康状態、日常生活、社会参加活動の実態 他

5 多様な雇用・就業機会の確保

(1) シルバー人材センター連合会運営〔予算額 852,147千円〕

「自主・自立、共働・共助」を基本理念として、群馬労働局、群馬県並びに市町村と連携を密にして、県内各地において、シニアのための臨時的、短期的かつ軽易な業務の就業機会の確保、提供を行っている市町村シルバー人材センターの取組を支援します。

ア 普及啓発事業〔予算額 6,651千円〕

シルバー人材センター事業の理念・仕組み等を広く県民に周知するとともに、会員拡大と退会防止ため普及啓発事業を推進し、センター事業の活性化を図ります。

- ・内容 ① 「シルバーの日（10月第3土曜日）」及び「普及啓発月間（10月）」の事業推進
- ② 情報誌「ときめき群馬」等を活用したセンター事業紹介
- ③ 各種イベント等でのセンター事業紹介
- ④ リーフレット等普及啓発資料の作成、配布
- ⑤ 県広報媒体、有料広告等による広報
- ⑥ ライフビューティー講座の開催
- ⑦ 24時間健康電話相談の実施

イ 安全・適正就業推進事業〔予算額 3,196千円〕

シルバー人材センター事業の実施にあたっては、会員が高齢であることから、就業時の安全確保が重要となっています。特に事故が多発している作業について、安全就業対策の徹底を図るとともに、各センターの安全・適正就業意識の高揚を図り事故防止につなげます。

- ・内容 ① 安全・適正就業委員会の開催 3回（6月、10月、2月）
- ② 安全・適正就業担当者研修会の開催（適宜）
- ③ センターが実施する安全・適正就業講習会に対する支援（随時）
- ④ 全センター（支所・連絡所含む）に対して安全・適正就業の巡回訪問を実施（6月～11月）
- ⑤ センターで実施する安全講習会への参加、指導
- ⑥ 事故の現地調査指導（原因分析～対策指導）

- ⑦ 重篤事故（潜在事故を含む）等の再発防止対策の実施促進
- ⑧ 安全・適正就業啓発資料の作成、配布
- ⑨ 安全大会の開催、10/26（火）、ベイシア文化ホール
- ⑩ 安全就業優良センターの表彰
- ⑪ 事故防止啓蒙活動の実施（安全だるまの設置、事故防止安全教育DVD視聴等）
- ⑫ 蜂刺され重篤事故に対する再発防止策の継続推進
- ⑬ 安全・適正就業事故防止策への取組（安全活動有効品の配布）

ウ 就業開拓等事業〔予算額 1,059千円〕

シルバー人材センター会員の経験、知識、技術、技能を活かせる仕事を確保、提供するため、シルバー人材センターが受注可能な仕事の開拓や新しい就業分野の開発・拡大を図ります。また、地域で活躍したいという意欲と能力のある高齢者に対し入会を促進し、会員拡大を図ります。

- ・内容 ① 就業開拓等委員会の開催 2回（6月、2月）
- ② ブロック別会議の開催（1月）
- ③ 就業開拓等推進巡回訪問の実施（7月～12月）
- ④ 就業開拓等の推進
- ⑤ 企業等への訪問によるシルバー事業紹介
- ⑥ 適正就業（法令遵守）の徹底
- ⑦ 独自事業の推進
- ⑧ 地域団体との連携
- ⑨ 就業開拓等啓発資料の作成、配布

エ 交流研修事業〔予算額 705千円〕

シルバー人材センター事業の円滑な運営及びセンター役職員の資質向上、活性化を図るため、各種研修を開催します。また、センターが会員を対象に実施する技能講習会に対して支援を行います。

- ・内容 ① 役職員研修（7月）、群馬県社会福祉総合センター
- ② 職員研修（9月）、群馬県社会福祉総合センター
- ③ センターが実施する技能講習会に対する支援（随時）

オ 指導相談事業〔予算額 74千円〕

シルバー人材センター事業の適切な運営を図るため、（公社）全国シルバー人材センター事業協会と連携してセンターに対し指導を実施するとともに、センターからの相談に随時対応します。

カ シルバー人材センターへの交付金等の支出〔予算額 198,442千円〕

シルバー人材センターの機能強化とこれを支える自主的運営基盤の確立を図るため、国庫補助金をシルバー人材センターへ交付します。

キ 調査研究事業 [予算額 1,150千円]

シルバー人材センター事業を推進していくうえで有益な情報や資料等を収集・分析、先進地視察等を通じてシルバー人材センターとの情報の共有化を図ります。

ク センター設置促進 [予算額 -]

群馬労働局、群馬県及び関係町村と連携のもとシルバー人材センターの未設置地域の解消及び連合会への加入を目指します。

- ・未設置町村 草津町、川場村
- ・連合会未加入 榛東村、上野村

ケ シルバー派遣事業運営 [予算額 639,733千円]

高齢者の就業機会の拡大につなげるため、従来からの請負や委任による働き方では対応できない業務など、多様な働き方が可能となる労働者派遣事業を更に推進します。

- ① 派遣事業担当者研修(8月)、群馬県社会福祉総合センター
- ② 教育訓練(随時)
- ③ シルバー派遣事業資料の作成・配布
- ④ シルバー派遣事業支援(4月～3月)

コ 高齢者職業紹介事業 [予算額 7千円]

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高齢者の多様なニーズに応えるため、職業紹介事業を実施します。

サ 新型コロナウイルス感染症対策助成金の交付(新規) [予算額 1,130千円]

連合会会費のうち、均等割相当分を新型コロナウイルス感染症対策助成金として各シルバー人材センターに交付します(令和3年度のみの特限措置)。

(2) 高齢者活躍人材確保育成事業 [予算額 39,773千円]

人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業を推進するため、働くことに必ずしも意欲的ではない高齢者や高齢者の活用に消極的、あるいは具体的な利用方法が分からない企業に対して、シルバー人材センターの事業を積極的に周知・広報し、就業体験や職場体験を通じてセンターに対する理解を深めていただき、高齢者がセンターに興味と自信を持って就業できるように必要な技能講習を行うことで、新規会員と新たにシルバー人材センターを利用する企業を増やすとともに、新たな分野で活躍を希望している又は実際の就業に今一步踏み出せない現会員に対しても就業体験及び技能講習を実施し、人手不足分野等での担い手不足の解消を目指すことを目的に実施します。